

彫刻専攻の2年生が岩手芸術祭美術展で入賞・入選しました。

第68回岩手芸術祭美術展の審査が9月6日(日)に行われ、 本校から出品した彫刻専攻2年笹森祐帆さんの首像「すずか」 が入選、同じく彫刻専攻2年村上凉香さんの「YU-HO」が奨励 賞を受賞しました。これらの作品は、平成27年10月3日[土] から10月6日[火]まで、岩手県民会館[岩手県盛岡市内丸 13番1号]で展示されています。なお、奨励賞を受賞した村上 さんの作品は、11月14日[土]から12月13日[日]まで、 久慈市文化会館、一戸町コミュニティーセンター、岩泉町民会 館、奥州市文化会館、宮古市民文化会館、山田町中央公民館を

巡回し、岩手県立美術館で平成28年2月27日「土」から3月

27 日 [日] まで開催される「アートフェスタいわて 2015」に



「YU-HO」 2年 村上 涼香

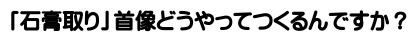


2年 笹森 祐帆









出品される予定です。

最初は、モデルを観察してたくさんの方向からスケッチ。 そしてまたモデルを観察しながら、水粘土で成形しているん ですね。それに石膏をかけて雌型を作り「写真1]、中の粘土 を出して[写真2]、中に剥離剤を塗って、また石膏[白セメ ント」を流し込み、補強材を入れながら石膏を固めます。雄 型が固まったら、雌型を割り[写真3]、割り出し作業でかけ た部分を修正し、作品になります。ここで終わりではありま せん。作品の安定とその存在感を考えながら、首像の固定の 仕方を決めて台座を作ります。一つの作品になるまで様々な 工程を経て「作品」になっていくのですね。

(ちなみに今回、村上さんの作品は雄型を白セメントで作りました。)

写真 2



写真3